

知ってた!? 隠れたまちの アレコレ

市内の知られざるスポット
を調査してきました

Vol. 07 スポーツ界の偉人を訪ねて

10月9日は「スポーツの日」。スポーツは時代や国を超えて、人々を熱狂させ、勇気や感動を与えてきました。今回は野球界・相撲界に名を残す2人の偉業を今に伝える場所をご紹介します。ゆかりの地を巡り、当時の様子に想像をふくらませてみてはいかがでしょうか。



元祖二刀流「ベープ・ルース」

八木山動物公園フジサキの杜に、野球の神様と呼ばれる「ベープ・ルース」の銅像があるのをご存じですか。現在アフリカ園がある場所には、かつて「八木山球場」という名の野球場がありました。2万人程を収容でき、当時東洋一とも言われる規模を誇った八木山球場。昭和9年、ここで日米親善野球大会が開催され、ベープ・ルースが来日初ホームランを放ったのです。これを記念し、球場の跡地である園内に銅像が建てられ、令和4年には、「日本野球聖地・名所150選」に選ばれています。

動物公園にお越しの際には、仙台の野球の歴史にも触れてみませんか。



▲絵はがきに残る八木山球場の様子（歴史民俗資料館蔵）



※銅像を見るには、入園料がかかります



銅像のある場所がホームランの落下地点です



勾当台公園にある谷風の銅像。間近で見ると、その迫りに圧倒されます



▲谷風の墓。昭和17年に現在地に移転され、遺骨は菩提寺に改葬されました



「震目飛行場前」バス停から徒歩約3分

仙台出身の大横綱「谷風」



日本の伝統的なスポーツである相撲。その長い歴史の中で、名横綱の1人として語り継がれているのが、宮城郡霞目村（現・若林区霞目）出身の「二代目谷風梶之助」です。身長約190センチメートル、体重160キログラムを超える恵まれた体格の持ち主で、天明2年（1782年）には63連勝を記録しています。また、成績だけではなく、人柄も素晴らしかったことから、「谷風の前に谷風なし 谷風の後に谷風なし」とたたえられました。

出身地である霞目にはお墓があるほか、勾当台公園いこいの広場南側には実物大の銅像があり、往時をしのぶことができます。

食 べる力を 育 む

せんだいレシピ帖

もやしの和風ポタージュ



食を通じてエコな暮らしを提案する「せんだい食エコリーダー」考案のレシピです。みそを入れることで、もやしのおいしさを抑え、濃厚な逸品になります。

材料（2人分）

もやし …1袋
オリーブオイル…大さじ1
豆乳 …150ミリリットル
薄力粉 …小さじ2
コンソメ …小さじ1/2
みそ …大さじ1
水 …50ミリリットル
塩 …適量
黒こしょう …適量

作り方

- 鍋にオリーブオイル、もやしを入れ、中火で炒める
- もやし全体に火が通ったら薄力粉を少しずつ加え、粉っぽさが無くなるまで混ぜながら炒める
- ②にコンソメ、水、みそを加えてよく混ぜ、ふたをして弱火で4～5分煮込む
- ③をブレンダーやミキサーにかけてペースト状にした後、鍋に戻し、豆乳を加えて弱火で温め、塩、黒こしょうで味を調える

食育 Point

10月は「食品ロス削減月間」。食材を適切に保存し、傷みやすい食材から使うことも食品ロス削減につながります。傷みやすいもやしは、早めに調理し、おいしく食べきりましょう

※ワケルネット<https://www.gomi100.com/>では、他にも食品ロスを減らすためのアイデアレシピを紹介しています

問家庭ごみ減量課 ☎214・8229